別　記
様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

令和5年　7　月　　27日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
喜楽鉱業株式会社　代表取締役　小宮山　茂幸

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例 ［~~第25条第3項~~・~~第25条第4項~~ ~~第27条第1項~~・~~第27条第2項において準用する同条例~~ 第26条第1項 ~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~］

~~第25条第4項~~ ］の規定に基づき、［~~事業者行動計画を 策定~~ ~~（変更）~~ 事業者行動報告書を作成］したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	喜楽鉱業株式会社　代表取締役　小宮山　茂幸
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号

1　事業者の概要

事業所の名称	喜楽鉱業株式会社　本社工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号					
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	8	8	2	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 産業廃棄物処分業
事業の概要	産業廃棄物中間処理業					
従業員の数	140　人	操業時間	24　時間／日			
該当する事業者の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☑ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3　台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	5　台	空気調和設備	台	その他	焼却炉

2　計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	平成30　年度	報告対象年度	令和4　年度
	終了年度	令和5　年度		

3　計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

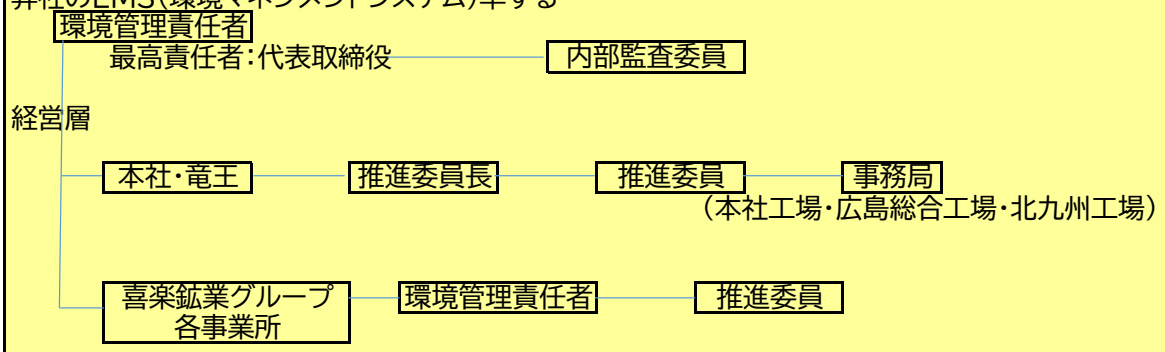
（第1面）

1　CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち喜楽鉱業株式会社は、社是・社訓をもって地中環境への影響を尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を図ります。
油系廃棄物を無害化、有効利用の技術開発、その他の関連業務を通じて世を益し続けるための基本理念を通じてマネジメント活動を行います。
1、事業活動についてアセスメントを行い技術的、経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を設定し環境　マネジメントシステムの継続的改善を行います。
2、環境関連の法規・条例・協定及びその他の要求事項を尊守するとともに自主基準を制定し環境防止等を図ります。
3、環境管理活動を継続して推進致します。
4、環境教育や社内活動を実施して全従業員への環境方針の理解と環境情報の周知徹底を行います。
5、環境方針は、要求に応じて社外に公表致します。

2　取組の推進体制

〇責任者
弊社のEMS（環境マネジメントシステム）準ずる



3　これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー対策及び低炭素対策については平成13年より計画的に取り組みを実施しています。
・コンプレッサーの合理化運用と省エネタイプ（インバーター）入れ替え
・工場・事務所内の電灯をLED化
・照明設備の使用していない区画の消灯
・蒸気ラインの見直しによるボイラーによる使用燃料削減
・各種設備の見直し及び不要設備の撤去

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	インバータ式コンプレッサーへの切り替え及び合理化	令和元年	実施済
2	設備導入	照明設備のLED化	令和5年	施設の80%以上実施
3	設備導入	エアコン等の冷暖房機器の更新	令和3年	実施済
4	設備導入	設備改善・不要設備の撤去	通年	随時実施
5				

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	CH4	廃油リサイクルの促進及びリサイクル技術の向上または廃プラスチック類のリサイクル	通年	継続実施中
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
当社は、油系産業廃棄物の無害化、リサイクルを生業としております。事業の拡大発展が地域への環境保護及び地球環境負荷の軽減に大切であり、水質・土壌を守ると同時に大気環境の負荷も低減していくことにつながると考えています。このため、当社としては、最新設備の導入及び定期的な改修を行い継続的な不可軽減を行い、ISO14001による管理を実践していく。 目標としては前年の電気使用量(稼働率)に対して使用量が上回らないようにします。	設備投資による改善は、順次実施できているが電気容量の大きなものについてはほとんど終わったために電気使用量についてはほとんど変わらなくなっている。廃油のリサイクルについては前年と同様に効率を求めて継続している。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(平成30)年度	(令和元)年度	(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	956	625	581	615	932	583
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	21,625	18,403	13,483	17,428	10,404	7,999
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	1,961	1,088	794	812	1,384	721
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2	19,604	17,086	12,528	16,588	9,003	7,260
CH_4	t-CO_2	0	1	0	1	0	0
N_2O	t-CO_2	56	56	12	28	17	18
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
NF_3	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移		0.110	0.060	0.080	0.060	0.190	0.020

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5　再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力･小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO_2ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

（1）取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
廃油のリサイクル 当社においては、廃油を回収して再生することで（重油相当）として販売を行っています。 廃油リサイクルを行うことで従来焼却処理されていたものを重油同等品として販売すること化石燃料の使用量を抑制することができ温室効果ガスの削減することができる。　（原油の採掘、製造、運搬の削減となる。）　廃油リサイクルシステムを通じて低炭素社会づくりを推進していきます。	廃油のリサイクルを継続して行っています。　品質の安定と更なる向上を目指している重油相当品以上にすることで内燃機関及び火力発電などの利用を検討する。
	CO_2削減貢献量
	82,250.6　t-CO2

（2）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標 当社で廃油の再生（リサイクル）について安定供給することでお客様に安心して使用していただくことで温室ガスとなるCO2排出削減に貢献していく。 考え方 再生重油をお客様が使用することで化石燃料の枯渇を防ぐとともに焼却処理によるCO2発生量を抑制するものとした。 つまり、販売量×CO2排出係数により貢献量とする。 貢献量 再生重油の販売量×廃油のCO2排出係数（2.92）＝貢献量（温室ガス削減量）

（3）上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO_2削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
再生重油をお客様が使用することで化石燃料の枯渇を防ぐとともに従来、焼却処理によるCO2発生量を抑制するものとしている。安定した供給と品質を継続して提供できた。品質を高めて再生重油の利用幅を広げることで温室ガスの削減を実施していきます。
CO_2削減貢献量の算出根拠
令和4年度の再生重油販売量（28,168Kl）×廃油のCO2排出係数（2.92）＝CO2削減貢献量

7 その他のCO_2ネットゼロ社会づくりに資する取組

（1）調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（平成30）年度	（令和元）年度	（令和2）年度	（令和3）年度	（令和4）年度
温室効果ガス排出量の推移	t-CO_2	21,568	18,346	13,321	17,400	10,387	8,090
エネルギー起源CO_2【調整後排出係数】	t-CO_2	1,964	1,260	793	812	1,384	830
【調整後排出係数】	kg-CO_2/kWh	0.493	0.418	0.334	0.318	0.351	0.350
特記事項							

（2）クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　　）年度	（　　）年度	（　　）年度	（　　）年度	（　　）年度
グリーン証書の購入	t-CO_2						
クレジットの購入	t-CO_2						
特記事項							

（3）通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1	新規設備	電気自動車及びハイブリットの促進		営業車両のハイブリットへの入れ替えは順次行っている
2	新規設備	トラックの大型化（トレーラー車両）による物流		物流時間の短縮、走行距離の削減につながっている。
3	新規設備	WEB会議（リモート）、IT、AIの促進		出張回数の削減につながっている。

（4）業務で使用する車輌の脱炭素化の取組

		計画開始年度前年度の保有台数	実績報告				
			（平成30）年度	（令和元）年度	（令和2）年度	（令和3）年度	（令和4）年度
保有車輌の数	台	119	119	119	120	121	129
上記のうち次世代自動車の数	台	2	2	2	2	2	9
特記事項							

（5）その他のCO_2ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				